

(特非) アジア太平洋資料センター (PARC)

世界の鉱物採掘現場で起きている環境破壊を 軽減するための現地取材・国内企業の 環境配慮行動調査ならびに普及啓発活動

ひろける助成

2年目

知識の提供・普及啓発



鉱山開発に影響されるミンダナオ島の村

活動内容と成果

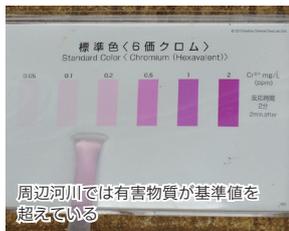
エクアドル、フィリピン、ポリビアなどの鉱物採掘現場では著しい水質汚染や生態系破壊が行われている、あるいは行われようとしている。しかもその理由がスマホなどの日常的に使用する電子機器や、場合によっては電気自動車などの環境配慮製品を製造する原料を調達するためだったりする。その採掘に伴う環境破壊の実態を調査し、製品とのリンクージュを確認し、12,000人以上の消費者に問題を普及啓発するとともに企業に対しても包括的な環境意識、サプライチェーンマネジメントの強化を促す。

課題

鉱物採掘の現場と最終製品のリンクージュを確認するプロセスは容易でなく、しかも鉱山はしばしば日本以外の国、しかも辺境にあるために、遠い世界の話になってしまう。

目標

遠くの世界の問題を身近な電機電子製品と紐付けることで、当事者意識を消費者と日本企業に芽生えさせること。



キャンペーン
告知リーチ

12,003人

ワークショップ実施

16回

今年度計画の達成度

95%

目標達成度

80%

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

採掘現場はしばしば辺境であるため情報が不足しており、現場調査をコーディネートすることは常に困難。

■ 工夫した点

信頼できる現地カウンターパートをみつけ、密にコミュニケーションをとりながら十分な現地調査ができる体制を作る。

| 活動地域 | 

日本、南米、東南アジア、北米

〒101-0063

東京都千代田区神田淡路町1-7-11

<http://www.parc-jp.org>



今後の
展望

さらに日本企業の鉱物調達におけるサプライチェーンマネジメントを強化させるとともに、日本の消費者・日本企業への働きかけを鉱山開発に立ち向かう現地住民らの活動戦略として位置づけ、エンパワメントを促す。